

NST NEWS

H23.7.22

第 28 号

摂食回復支援食って知っていますか??

(1) 摂食回復支援食について

前回のNEWSに掲載した第26回日本静脈経腸栄養学会で、摂食回復支援食について取り上げられていたのでここでご紹介します。

摂食回復支援食とは、通常の食事を摂ることが難しい方の食べる機能と栄養摂取を支援するための食事です。イーエヌ大塚製薬株式会社は2010年10月22日(金)よりこの摂食回復支援食「**あいーと**」を発売しています。「あいーと」は藤田保健衛生大の東口高志教授らと開発され、独自の新技术により、食材本来の形、色、味をそのまま、舌でくずせるやわらかさに仕上げています。価格は221円のごはんをはじめ、399円のおかず9種(銀鮭の塩焼き他)、473円のおかず5種(酢豚風甘酢煮他)の合計15品目です。3食(1食はおかず2品とごはんを想定)で計算すると1日3000円余りかかるため、病院での提供はなかなか難しいのが現状です。

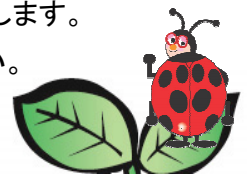
あいーとは酵素均浸法という技術を用いています。酵素均浸法(酵素均質浸透法)とは、食材ごとに最適な酵素を選び、圧力を変えながら注入する独自技術で、形が崩れないギリギリの柔らかさで食感も残しています。また、食材の細胞損傷が少ないので、栄養素の漏出、風味や色の抜けがなく、食材本来の栄養素、風味、色調が自然のまま保たれています。



スプーンでも
容易につぶせます。

冷凍食品であるため蒸し器やスチームコンベクションオーブン、電子レンジなどで加熱します。
通信販売での購入になりますので、お問い合わせ番号などは栄養科まで御確認下さい。

※ 「**あいーと**」は「**I eat**」(私は食べる)という、能動的な言葉を語源としています。



栄養管理委員会で「あいーと」を試食してみました。



初めて試食させていただきました。れんこん・にんじん・見た目は固そうに見えますが、口の中に入るとビックリするぐらいの柔らかさ、匂いもあり、味もその素材の味が出ていて感動しました！ぜひ、嚥下食の患者様に提供できればと思います。

2N 長尾課長

写真にもありますが、あの繊維質で歯ごたえ満点のはずのレンコンが、見た目の予想に反して口の中でやわらかくほぐれて衝撃でした。これなら高齢の方でも嚥下に問題がある方でも大丈夫！お食事がもっと楽しくなると思いました。



ST・林リーダー

(2)テルモのF2ライトお試し計画

昨年、テルモ様からの依頼でF2ライトという経管栄養食品を試用して作業効率の変化などのデータをとってみる計画を進めていたのですが、対象患者を調整しているうちに人数などの都合で残念ながら中止になってしまいました。けれども、テルモさんの準備調査でわかったことなどもあり、F2ライトの紹介も含めて報告させていただきます。

F2ライトとは

- 適度な粘度〔4000mPa・s〕（半固形食）があり、胃ろうから直接自然滴下すること
 - 栄養チューブを使用する必要がないので衛生的
 - 水分がもともと調整されており、追加が不要か若しくは少量ですむ
 - 白湯を加えなくてよい場合は衛生的
- ※今後、作業効率、衛生面、コスト面から採用を検討して行きたいと考えています。



テルモさんの準備調査 『経管栄養実施環境衛生調査』

詰所のテーブル、消毒後の栄養チューブなどについて細菌検査が実施された結果、当院の経管栄養の作業環境は十分衛生的であると判断されました。

～逆流防止に経鼻でF2ライト使用～

F2ライトの特質を利用して、逆流リスクがあり胃瘻造設していない患者様に逆流防止の目的で使用するという利用方法があります。手技も確定しておらず個別対応で様子を見ているので、正式に公開はしていませんが、主治医からの相談などあれば提案させて頂いています。現在3名の患者様が試されています。

胃瘻と違い経鼻はチューブの内径が狭いのでそのまま滴下は出来ません。加圧バッグで圧力をかけ、絞り出します。適度なトロミがあるので軽度の逆流なら防ぐことができるようです。

(3)震災の影響でF2α使用

震災の影響で通常使用している使い捨てパックの経管用流動食（メイバランスなど）が入荷できなくなりました。パッケージのチューブへの接続部分の部品工場が被災し、その部品が調達できないため商品自体が製造できなくなったのです。急遽テルモさんに連絡を取り、なんとか使い捨てパックの流動食を都合してもらえることになりました。F2ライトのとろみのないタイプのF2αという商品です。この商品はチューブへの接続部分が無く、別にコネクタを取り付けて使用するタイプだったので影響を受けずに製造できたそうです。ほとんどの流動食メーカーが影響を受け、他へ依頼しようとしても断られる中、本当に助かりました。成分が変わるので、患者様への影響は気になりましたが一部皮膚症状（原因特定できない）の出た患者様を除き特に問題もなく済みました。

当院では、もともとコネクタ不要なものを採用しており、特に使用割合が多かったものは追加水分不要のタイプで、かなり作業効率を上げていたので、今回の代替品使用により病棟での作業は大変だったようではありますが、テルモさんのご協力により影響は最小限に抑えられたと思います。

今回の経験で、様々な災害に備えておくことの重要性を実感しました。

